

東洋新薬が福岡県と包括連携協定 県民の健康づくりや青少年育成など多彩な内容

健康食品や化粧品のODMメーカー、東洋新薬は8月8日、福岡県と包括連携協定を締結した。福岡県の推進している「共助社会づくり」に、トクホ（特定保健用食品）取得件数が日本一の243件に上るなどの実績をもとに、健康づくりや人材育成、県産の農林水産物を活用した食品などの開発により、地域の活性化を図るもの。企業やNPOが行政と連携、明るく豊かな社会の構築を目指す動きが強まっているだけに、今回の協定がどのような成果を生み出すか注目される。



包括連携協定に調印し、握手する小川洋・福岡県知事(左)と、服部利光・東洋新薬代表取締役

年金や医療が典型だが、人口減少や急激な高齢化の進行などによって、従来の社会システムに綻びが見られるようになった。福祉や教育などを、行政だけが担うのは難しくなっている。規制緩和論議の根底には、そのような事情もある。また、自治体では安全・安心の確保などのためにCSR（企業の社会的責任）活動に積極的な企業と連携する動きが強まり、民間では公益的な課題の解決に取り組むNPOやボランティアが増加している。

トクホ取得数日本一の 技術・ノウハウを地域活性化に

東洋新薬にとって、福岡県との包括

連携協定は、自治体との6番目の協定となった。服部利光代表取締役は「当社は福岡県に本社を構えていることもあり、『共助社会づくり』という政策に積極的に協力していきたい。また、独自の素材をベースに健康食品や化粧品を開発してきた実績があるので、その技術やノウハウを農林水産物の高付加価値化に活用、地域活性化に役立てたい。食育や健康増進活動にも参加していく」と、協定締結の狙いを語った。

実際、東洋新薬と自治体の包括連携協定の第1号となった熊本県では、耕作放棄地で青汁の原料を栽培するとともに、すいおう（甘藷若葉末）を活用した商品をシリーズ展開している。佐賀

県では、県固有の香酸柑橘類「ゲンコウ」を配合した化粧品を商品化した。「地域経済の活性化など様々な事業活動を通じて積極的に社会貢献に取り組み、世界の人々の健康で活力ある社会への寄与に努めてまいります」という



「市町村対抗 福岡駅伝」や「健康21世紀福岡県大会」の舞台となる九州芸文館

企業理念をベースにしてのことだ。

福岡県の小川洋知事は「東洋新薬は、福岡県のバイオ産業拠点推進会議のメンバーとして、地元の食材を活用した機能性食品の開発に取り組んでいる。トクホの取得数日本一が物語る、長年にわたって蓄積した技術、知見、ノウハウを、県産の農林水産物などの高付加価値化や地域経済の活性化、さらには県民の健康づくりや青少年の育成などに役立ててほしい。今後、様々な分野で連携し、地域の振興に結びつけていきたい」と、強い期待を示した。

「健康21世紀福岡県大会」で 食育や健康食品で協力も

「県民幸福度日本一」を目指す福岡県は、「共助社会づくり」という考え方の下に、企業やNPOなどと協働し、多彩な活動を展開している。包括連携協定をベースにしたものでは、大手流通企業との県政の広報・啓発をはじめ、高齢者の見守り活動や県産品を使ったジビエ料理開発などで成果を上げている。社会貢献委員会を設置した福岡経済同友会から「NPOを資金的に支援するため行政による基金設立を」という



志を持ったたくましい青少年を育成する「青少年アンビシャス運動」

福岡県新社会推進部社会活動推進課長 重松典子氏

食関連の教育や地元産品を活用した 商品開発などでの貢献に期待

福岡県は2008年に新社会推進部を設け、「共助社会づくり」に取り組んでいます。少子高齢化をはじめ、かつて経験したことのない構造的な変化への対応には、行政だけでは限界があるからです。そこで社会貢献に積極的な企業やNPO、ボランティアなどと共に福祉の充実や健康の増進、環境の保護などで連携してきました。既に高齢者の雇用創出や見守り活動などでは成果も出ています。

今回の東洋新薬との包括連携協定では、まず青少年育成や健康づくりでの協働を期待しています。青少年育成では農産物の生産段階における安全性や環境管理に関する国際規範「GLOBAL.G.A.P.」を農業高校の先生や生徒に講義していただいたり、県が展開する「青少年アンビシャス運動」で子供向けの科学教室を実施することなどを、また健康づくりでは生活習慣病の予防や健康食



品の正確な情報提供などを予定しています。このほか、県産の農林水産物を活用した新製品を開発、付加価値を増大し、地域活性化につなげることを期待しています。福岡県は西日本有数の農業県であり、トクホの取得数日本一の東洋新薬と連携することによって、県産農林水産物を活用した機能性食品の開発などが可能になるからです。産地の紹介など素材探しから共同で取り組んでいきます。今後とも、共助社会づくりを推進していく予定です。（談）

提言を受け、それを実現、好評を博していることもある。

現在、福岡県は県民の健康づくりに力を入れている。健康が幸福の、また自立した生活の基礎という考え方によるものだ。そこで11月16日には第1回の「市町村対抗 福岡駅伝」開催に合わせ「健康21世紀福岡県大会」を開く。これらのイベントでは健康づくりのためのノウハウの披露や健康食品の試食、さらにはB級グルメを集めた地域振興イベントも繰り広げる計画で、健康増進のための情報提供などでは東洋

新薬の協力も期待されている。

福岡県と東洋新薬の包括連携協定では、青少年の育成もテーマになっている。福岡県は「志を持ったたくましい青少年」を育成するために「青少年アンビシャス運動」を推進している。企業やNPOなどが行政と連携し、豊かで明るい社会を築き上げようというのは、社会的な潮流である。それだけに、東洋新薬がどのような分野で、どのような格好で福岡県と連携し、地域活性化に貢献していくのか、その行動が注目されている。